


公共施設(建物)データベースの概要



政策財務部財産管理課

平成26年3月

公共施設(建物)データベースとは

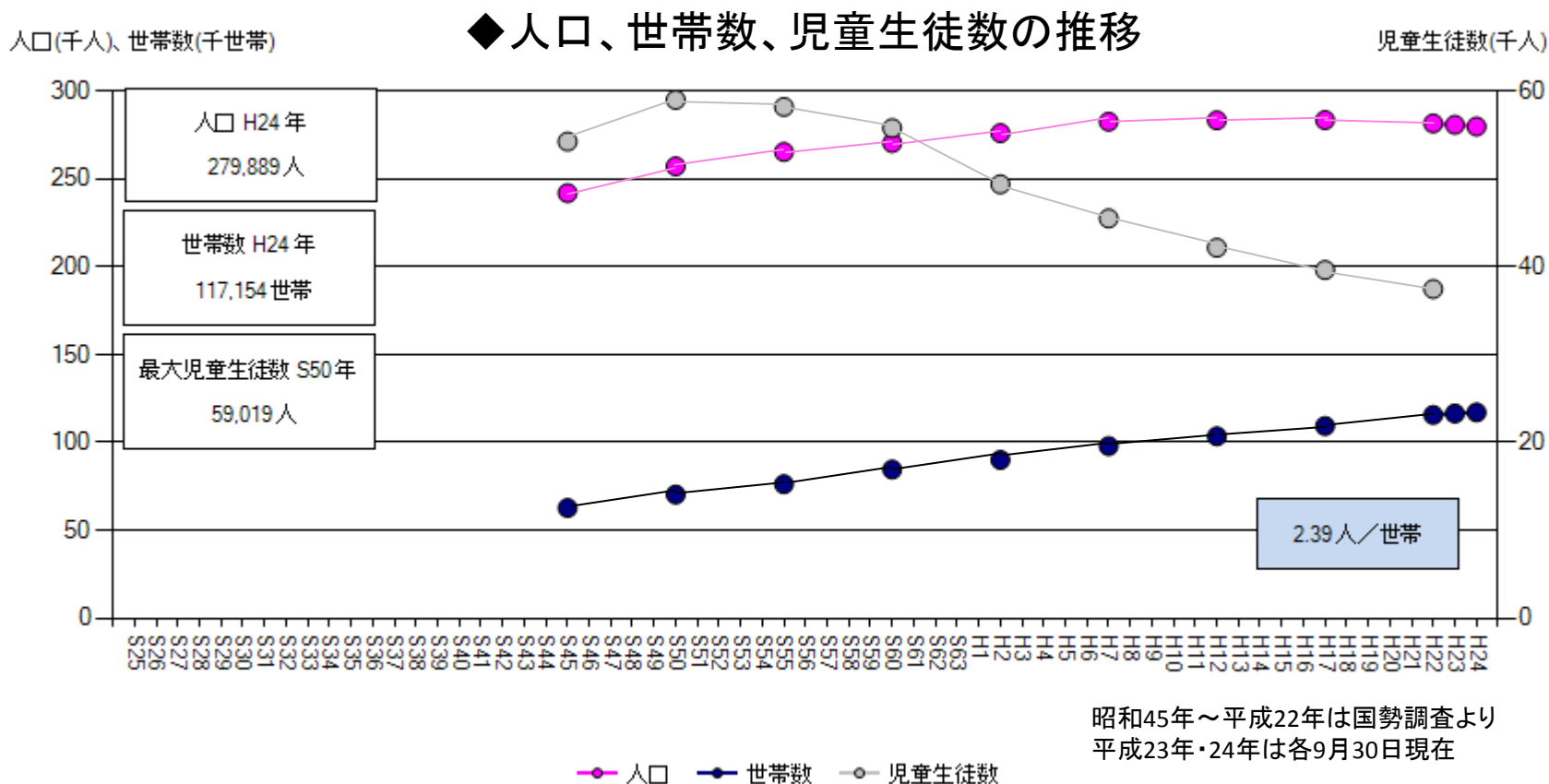
公共施設(建物)データベースとは、本市の公共施設(建物)を各棟ごとに建築年、延床面積、構造、耐震化状況等を整理することで、公共施設の現況を客観的に把握し、適切な維持管理及び更新を行うための基礎資料となるものです。

～目次～

- 1 津市の人口①
- 2 津市の人口②
- 3 津市の公共施設(建物)保有状況
- 4 公共施設(建物)の分類
- 5 津市の公共施設(建物)の建築年の状況
- 6 津市の公共施設の耐震化状況①
- 7 津市の公共施設の耐震化状況②
- 8 津市の公共施設更新に係る経費の将来推計①
- 9 津市の公共施設更新に係る経費の将来推計②

1 津市の人口①

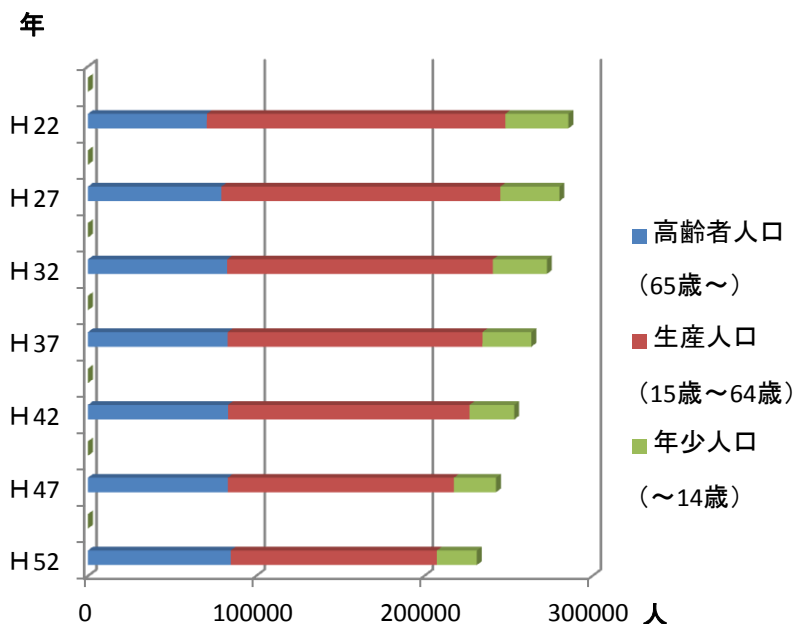
- ・平成18年頃をピークに平成21年頃から人口減少傾向にあります。
- ・昭和50年頃をピークに児童生徒数の減少が長期的に継続しています。



2 津市の人口②

- 少子高齢化が顕著になり、平成42年頃には人口が約25万人程度になると見込み。

◆将来人口動向



平成22年	
高齢者人口	70,700人
生産人口	177,500人
年少人口	37,500人
合計	285,700人

30年間で
54,400人減
約19%減

平成52年	
高齢者人口	84,900人
生産人口	122,600人
年少人口	23,800人
合計	231,300人

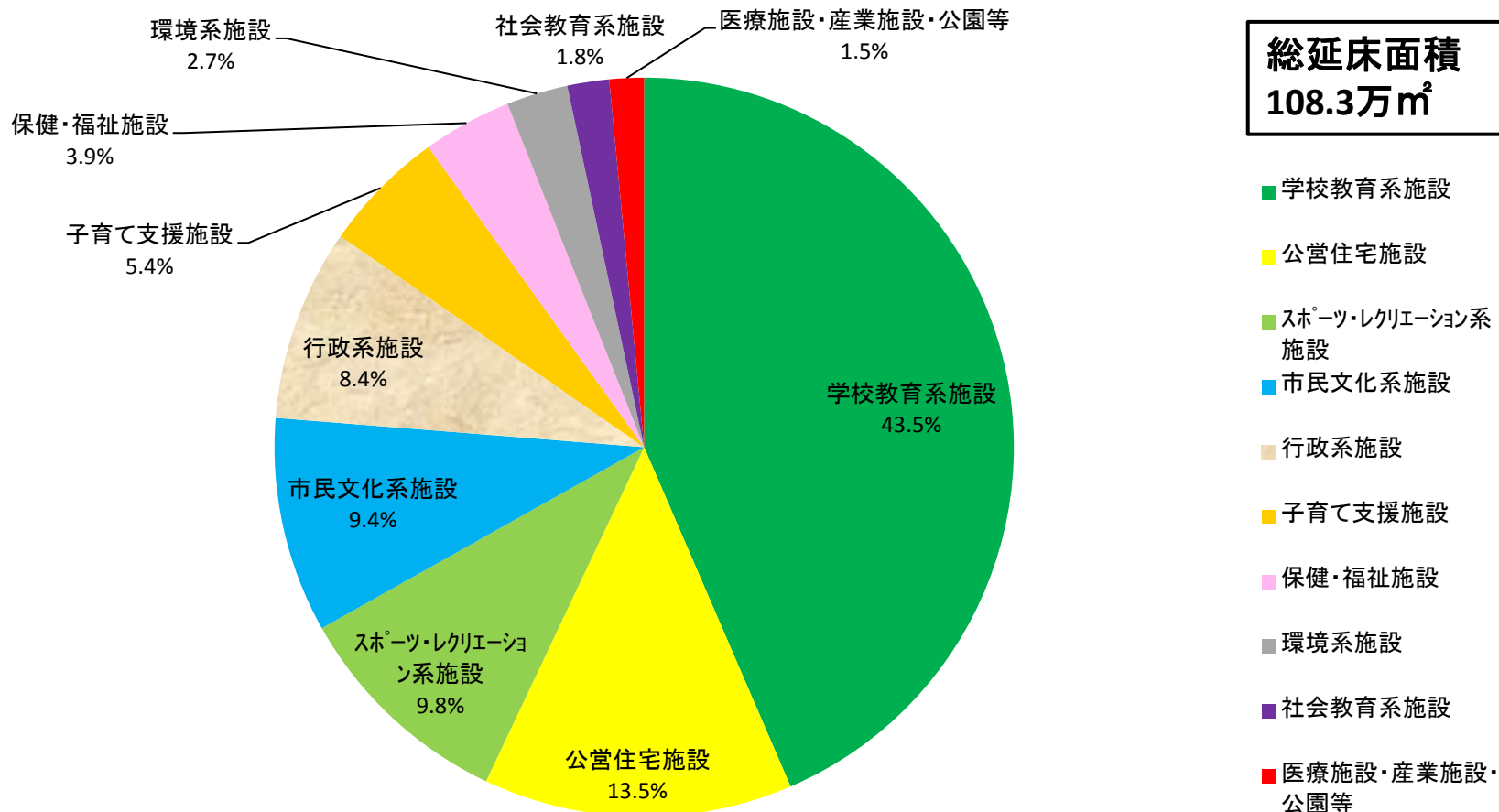
※ 平成27年以降の推計は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」より

利用率の低下する施設の増加、余剰施設の増加、高齢者施設等の不足が懸念されます。
求められる機能と施設規模の不一致が懸念されます。

3 津市の公共施設(建物)保有状況

◆建物の保有状況

※ このグラフは、津市が保有する公共施設(行政財産である建物)の分類別の面積の割合を示しています。



学校施設、公営住宅施設の割合が多くなっています。

4 公共施設(建物)の分類

◆公共施設の分類の主なもの

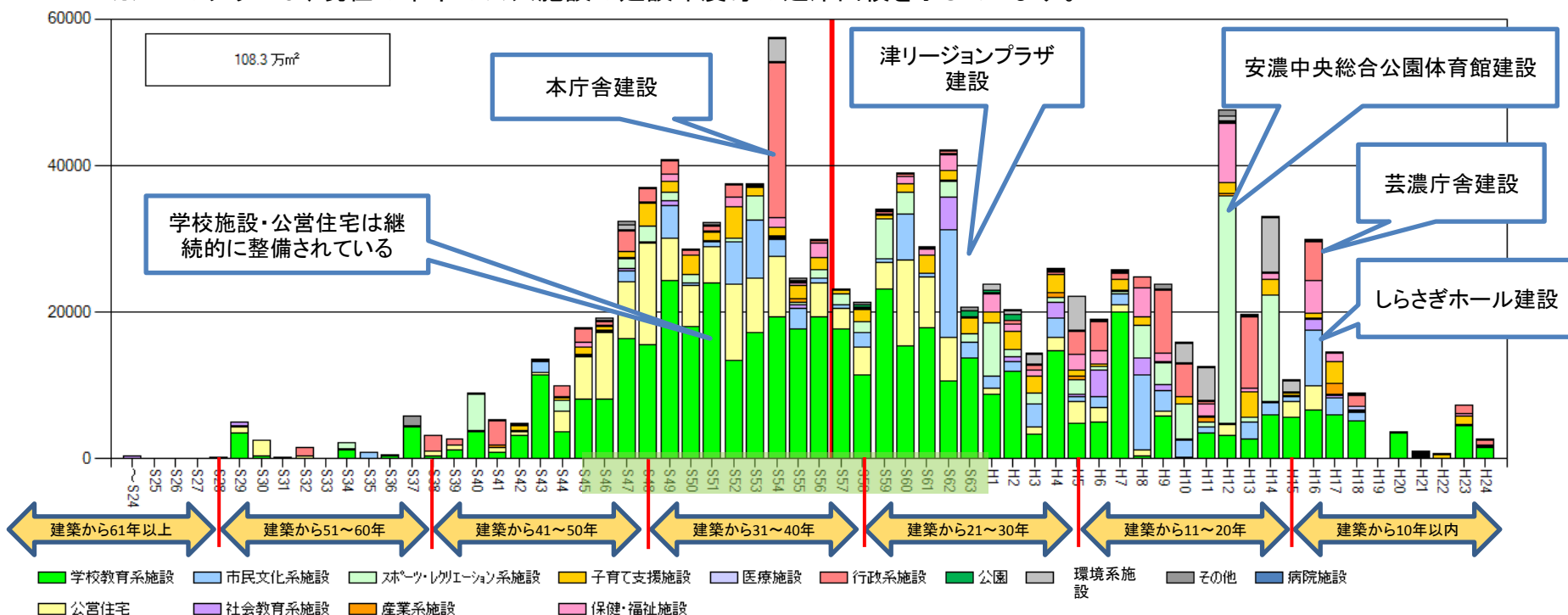
- ・学校教育系施設・・・小・中学校、給食センター等
- ・公営住宅・・・市営住宅
- ・スポーツ・レクリエーション系施設
・・・ 体育館・プール等のスポーツ施設、津モータボート競走場・落合の郷・矢頭中宮キャンプ場等のレクリエーション施設、湯の瀬等の保養施設
- ・市民文化系施設・・・津リージョンプラザ、公民館、文化ホール、コミュニティセンター等
- ・行政系施設・・・庁舎、出張所、消防施設、防災倉庫等
- ・子育て支援施設・・・幼稚園、保育園、子育て支援センター等
- ・保健・福祉施設・・・保健センター、老人福祉センター、児童館等
- ・環境系施設・・・西部クリーンセンター、白銀環境清掃センター等
- ・社会教育系施設・・・図書館、埋蔵文化財センター、香良洲歴史資料館等
- ・医療施設・・・津市休日応急・夜間こども応急クリニック、津市国民健康保険竹原診療所、津市夜間成人応急診療所
- ・産業系施設・・・津なぎさまち旅客ターミナル、津伊勢湾ヘリポート等
- ・公園・・・公園内便所、休憩室等

5 津市の公共施設(建物)の建設年の状況

一人当たりの公共施設(建物)の延べ床面積は3.88㎡/人
市町村合併等の影響により全国平均(3.22㎡/人)より過大となっている。

◆本市の公共施設の築年別整備状況

※ このグラフは、現在の本市の公共施設の建設年度毎の延床面積を示しています。



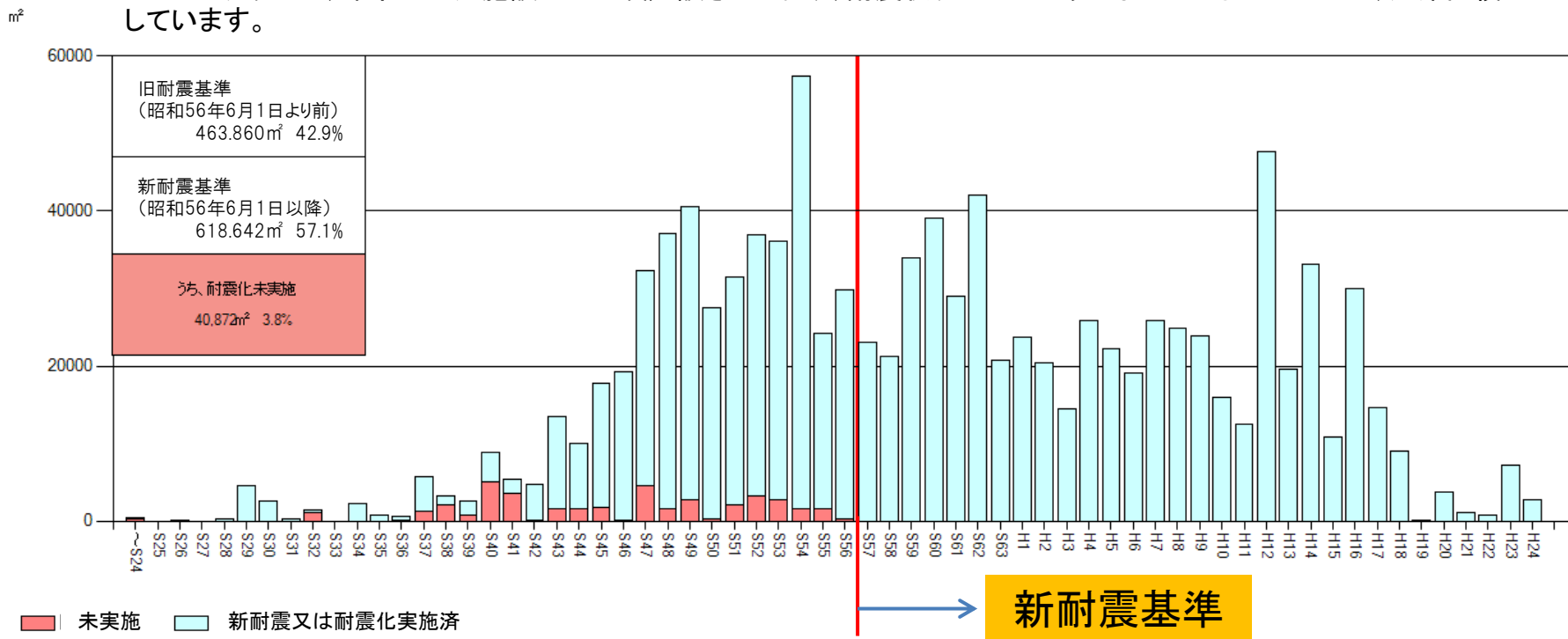
昭和40年代~60年代初頭に公共施設の建設が集中しているため、大規模改修及び建替えの時期も、将来一時期にピークが訪れます。

6 津市の公共施設(建物)の耐震化状況①

新耐震基準(現行の耐震基準)が導入された昭和56年6月1日より前に建築された建物が約42.8%、昭和56年6月1日以降に建築された建物が57.2%で、昭和56年6月1日より前の建物を含め、96.2%が新耐震基準で建設されている、又は耐震化実施済みです。

◆本市の公共施設の耐震化状況

※ このグラフは、津市の公共施設がいつ頃建設されており、耐震状況がどのようになっているかについて、延床面積で示しています。



「津市耐震改修促進計画」に基づき、公共施設を対象に耐震診断調査を計画的に進めてきた結果、概ね耐震性能が確保されています。

7 津市の公共施設(建物)の耐震化状況②

◆耐震化未実施建物の主なもの

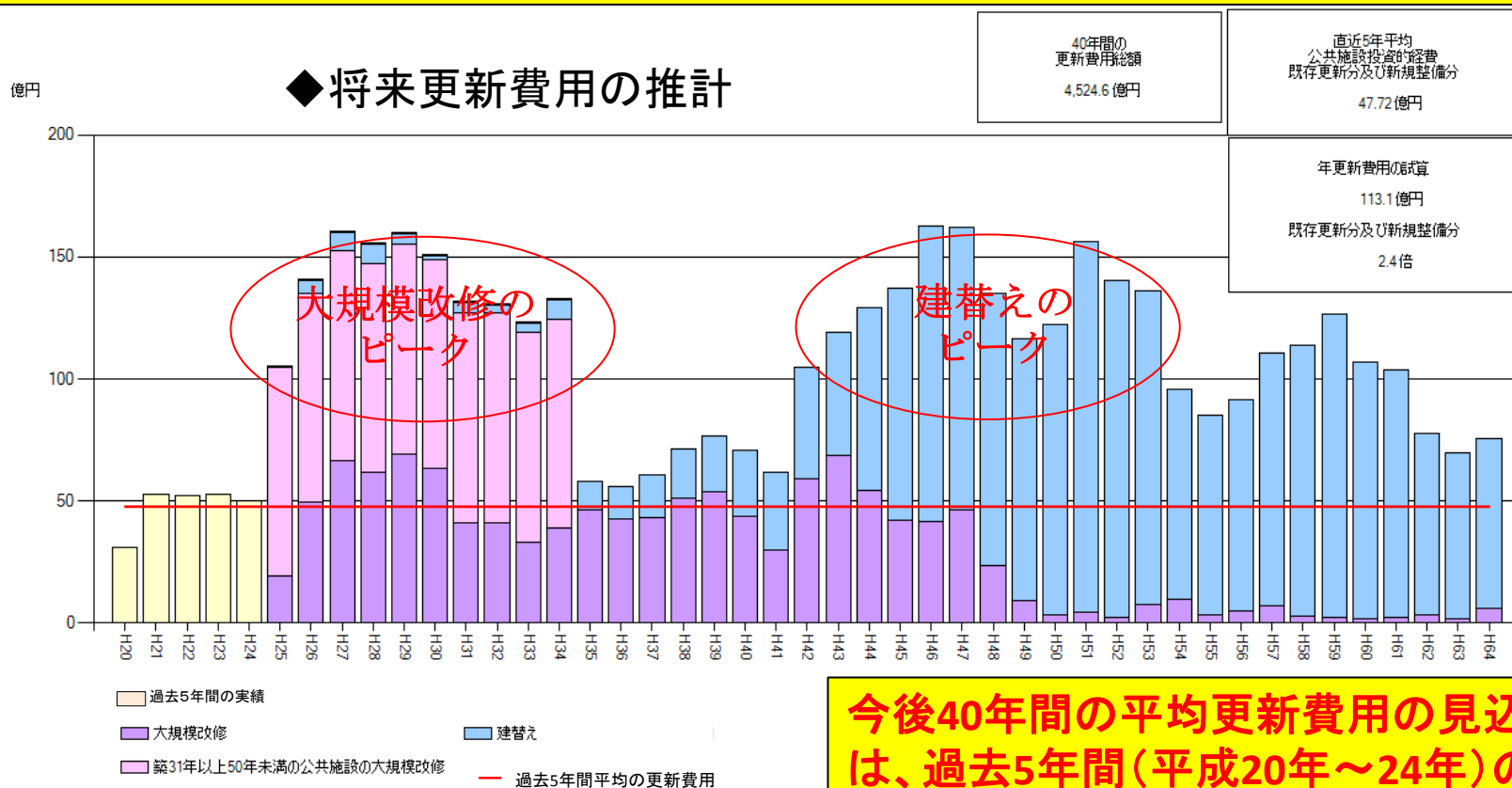
- ・久居庁舎及び津南工事事務所・・・平成27年1月移転予定
- ・美杉庁舎・・・平成26年3月31日移転完了
- ・津北工事事務所
 - ・・・本庁舎等を含め、望ましい配置場所を検討中
- ・旧社会福祉センター(援護課執務場所)
 - ・・・現在、本庁舎周辺整備計画により、移転を検討中
- ・旧中央公民館
 - ・・・平成25年7月センターパレスへ移転完了
- ・津市体育館・・・新産業・スポーツセンター完成後、移転予定
- ・久居市民会館(休館中)
 - ・・・(仮称)津市久居ホール整備基本計画に基づき新たな施設整備を検討中
- ・久居斎場・・・平成27年1月新斎場完成予定
- ・その他・・・倉庫、自転車置場等

8 津市の公共施設更新に係る経費の将来推計①

建設から築30年で大規模改修を、築60年で建替えを行うと仮定した場合、次のような費用面でのピークが訪れます。

第1次ピーク…大規模改修が必要となる平成26年～34年

第2次ピーク…建替えが必要となる平成42年～53年



今後40年間の平均更新費用の見込みは、過去5年間(平成20年～24年)の公共施設に係る投資的費用の約2.4倍になります。

9 津市の公共施設更新に係る経費の将来推計②

更新の考え方

平成24年3月総務省自治財政局財務調査課

「公共施設及びインフラ資産の将来の更新費用の比較分析に関する調査結果」
における試算方法の考え方より

1 更新サイクル

①30年で大規模改修 ②60年で建替え

2 試算単価

公共施設(建物)の分類	大規模改修	建替え
市民文化系施設	25万円/m ²	40万円/m ²
社会教育系施設	25万円/m ²	40万円/m ²
スポーツ・レクリエーション系施設	20万円/m ²	36万円/m ²
産業系施設	25万円/m ²	40万円/m ²
学校教育系施設	17万円/m ²	33万円/m ²
子育て支援施設	17万円/m ²	33万円/m ²
保健・福祉施設	20万円/m ²	36万円/m ²
医療施設	25万円/m ²	40万円/m ²
行政系施設	25万円/m ²	40万円/m ²
公営住宅	17万円/m ²	28万円/m ²
公園	17万円/m ²	33万円/m ²
環境系施設	20万円/m ²	36万円/m ²
その他	20万円/m ²	36万円/m ²